

## 「惜別」

おはようございます。

今日は、「惜別」というお話をします。「惜別」とは、「別れを惜（お）しむ」と書き、人との別れを辛くさみしく思う気持ちをさす言葉です。

先週の土曜日、鐘淵中学校の閉校式典・閉校結びの会に副校長先生と箕形PTA会長と出席してきました。山崎昇墨田区長をはじめ区議会議員や教育委員会の方々、各幼小中学校の校長先生やPTA会長、地域の方々、歴代の校長先生や旧教職員など約200名を数えるたくさんの方々が出席しました。

式典では、校長式辞に始まり、校旗の返還、ご来賓の言葉に続き、三年生女子2名による「お別れの言葉」がありました。「今年度で本校の名前がなくなってしまうけれど、この鐘中で過ごした友だちや先生との思い出は私たちの心の中に永遠に生き続けます。3年生はもうすぐ卒業してしまいましたが、1・2年生は鐘淵中と向島中のよき伝統を引き継ぎ、生徒・保護者、地域に愛される新たな桜堤中学校を創って行ってください」という言葉に涙する人もいました。

また、参列した全校生徒が閉校式という意味をよく理解していて、大変立派な態度で式に臨んでいました。特に生徒全員による心のこもった「あすという日が」「ふるさと」の合唱は、広い体育館いっぱい響き渡りました。式の終わりには会場の全員で最後の校歌斉唱で締めくくりました。本校と統合する鐘淵中学校の閉校式典は、参加した全員の心に残るすばらしい「惜別の会」になりました。

さて、今度は向島中学校の番です。私は、今年度の初めの朝礼で、こんなお話をしました。『この一年間「向中64年の集大成」のスローガンのもと、3年生には、最後の卒業生として有終の美を飾れるように頑張るとともに1・2年生をリードしてほしい、1・2年生には新校桜堤中学校への橋渡しをしてほしい』とお願いしました。皆さんは、この今日までの10ヶ月の間、その願いを胸にしっかりとした気持ちをもって学校生活を送ってくれたと思います。

いよいよ3月2日の本校の閉校式まであと40日、3月19日の3年生が旅立つ卒業式まで57日、3月25日の今年度の修了式まで63日、そして、3月31日向島中学校の校名を閉じ、新校桜堤中学校と引き継ぐ日まで69日となりました。全校生徒と先生方とともに一つひとつの学校行事の意義を考えて一日一日を大切に行動していきましょう。

最後に、先日「風の街 たそがれ色に染まる樹の 花芽はさくら咲く春を待つ」という短歌を見つけました。現在、新校桜堤中学校の工事も順調に進んでいるようです。先週の桜堤中の工事の様子をカメラに納めてきました。玄関に写真を掲示するとともに桜堤中のホームページにもアップしてありますので見てみてください。

